

## 9月1日は何の日？

9月は敬老の日、月見、秋分の日、秋のお彼岸とさまざまな日本の伝統行事があります。園ではこのような日や祝日の由来などを、子ども達に知らせています。日本の伝統を引き継いでいくためにも、私達大人が子ども達に話すことは大切なことです。ぜひご家庭でも、子どもと日本の伝統行事の由来などを話す機会を設けてみてはいかがでしょうか？

さて、今回は9月1日『防災の日』についてお伝えします。

「防災」を広辞苑で調べると「災害を防止すること」と記載されています。

9月1日が防災の日と定めたのは1960年（昭和35年）のことです。

9月1日が防災の日に選ばれた理由は2つあります。

1つは1923年（大正12年）に発生した関東大震災が9月1日だったことです。

2つ目は9月1日が暦の上では「二百十日」にあたり、台風の多い時季であることです。

また、毎年9月1日を含む8月30日～9月5日までは『防災週間』と定められています。

普段の暮らしの中で、なかなか災害に対して実感がわかないものですが、災害は突然やってくるものです。

防災の日と防災週間を機会に、しっかり防災について考えることは大切なことです。

生きるか死ぬかの災害、それに対する備えゼロはありません。

年に一度の防災の日を防災グッズなどのチェックの日にするのもいいかもしれませんね。

滅多に起きないからスルーするのではなく、災害が起きることを前提で備えておくことが大切です。

以下のような、災害の時のマークを確認しておくことも必要ですね。



### ◎避難場所と避難所の違い

- 避難場所…身を守るために避難する場所
- 避難所…避難生活をするための地域住民のための場所

園で毎月行われている避難訓練ではいろいろな時間帯や地震・火災などさまざまな災害を想定しています。

毎回の避難訓練の際に『お・は・し・も・す・き』の合言葉を使って確認しています。

- お…おさない      • は…はしらない      • し…しゃべらない      • も…もどらない
- す…すばやく      • き…はなしをきく

また園にある防災グッズの見直しも行い、カモミールでは2人用だっこ紐やサイレン付メガホン、大人用ヘルメットなどを購入したり、備蓄食品のチェックなども行っています。

備蓄食品をストックしている園庭にある倉庫も新しく買い替えました。

いつ起きるか分からない災害…

起きた時に困ることがないように日頃から確認し、点検することを意識していきましょう。

( 宮本 )